

# 子どもに対する 声掛け事案が増加しています

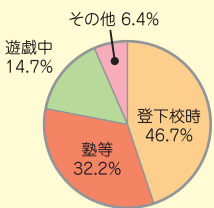


北海道警察の資料によりますと、道内における13歳未満の子どもに対する声掛け事案が、平成19年、平成20年の発生件数と比較して大幅に増えていることが分かりました。発生件数については下表のとおりですが、このうち、札幌市内における発生件数は172件となっており、道内での声掛け事案の約4割が札幌市内で発生したことになります。

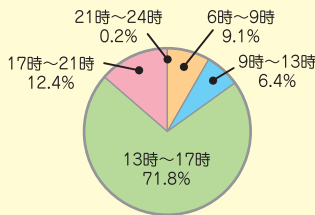
## 認知状況(平成19年～平成21年)

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成21年	6	28	39	55	65	46	45	21	41	43	32	29	450
平成20年	15	27	23	31	28	34	28	19	29	30	31	19	314
平成19年	21	24	14	23	24	46	24	13	19	28	26	24	286

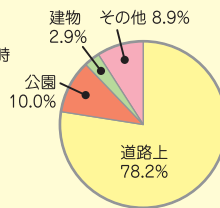
### 子どもの状況



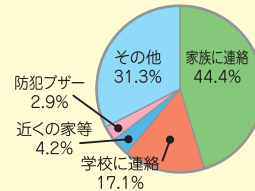
### 発生時間帯



### 発生場所



### 子どもの取った行動



西区内で発生した声掛け事案の一例としては

- ①小学生女児が、車に乗った30～40歳くらいの男に「犬がいっぱいいるから家に来ないかい?」と声を掛けられた。
- ②小学生男児が、歩いてきた55～65歳くらいの男に肩をつかまれて、住所や名前を聞かれ、「おもちゃをあげよう」と声を掛けられた。
- ③小学生女児が、30歳くらいの男に「お母さんが病気で倒れたから一緒に行こう」と声を掛けられた。



といったものがあります。また、声掛けをおこなう不審者は男性に限ったものではなく、他市では小学生男児に対して女性が車に乗るよう執拗に声を掛けるといった事例も発生しています。

これら不審者からお子さんを守るために、「知らない人にはついて行かない」、怖いと思ったときには「大声を出して逃げる」「ブザーやホイッスルを鳴らす」「近くの店や家などに助けを求める」といった対処方法(詳しくは北海道警察や西警察署のホームページをご覧ください)などについて、是非お子さんと話し合っていたいただきたいと思います。

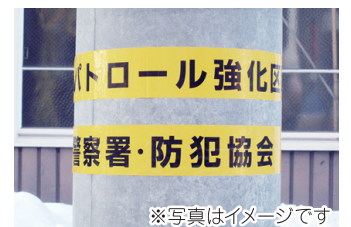
## 子どもを犯罪から守る取り組みのご紹介～親子防犯教室

昨年、発寒南小学校で行われた親子防犯教室についてご紹介します。この防犯教室は、同校のPTAが中心となって企画・運営を行い、今年で4回目の開催となります。今回は同校に通う親子が約60名参加、3名のスクールガードリーダーが講師役となり、不審者から逃げる練習や大声で叫ぶ練習など、子どもたちが自分たちの体を実際に動かすことによって防犯に役立つ知識や技術などを1時間半にわたって学びました。



## 知っていますか?「イエローテープ作戦」

西警察署管内では、「パトロール強化区域 警察署・防犯協会」と書かれた2本の黄色いテープが巻きつけられている電柱がありますが、これは、子どもや女性に対する声掛けやつきまといなどが発生した地域で、交番や地域防犯団体がパトロールを強化している場所を表すものです。住民等に対する地域安全情報の発信を行うと同時に、パトロールの強化を周知することによって犯罪の防止に役立てようとする試みです。



# 西区

# 子どもの見守り ネットワーク通信



第4号  
2010年 2月

## 編集

西区子どもの見守り  
ネットワーク会議事務局  
(西区総務企画課内)  
〒063-8612  
西区琴似2条7丁目1-1  
TEL. 641-2400  
(219-220)  
FAX. 612-5264

# 皆さんの活動をご紹介します

- ① 団体名(代表者)および参加人数
- ② 活動内容等

## ① 琴似小学校PTA (平賀 則勇 会長) 452名 (PTA)

② 通常は児童の登下校時を中心に個人個人で腕章を着用してパトロールを実施していますが、毎月2回、強化日を設けて下校時のパトロールを重点的に実施しています。これらの活動をスクールガードや町内会・商店街などとも連携し、地域全体で子どもの安全を見守る取り組みを進めています。また、12月から2月には冬季登校時交通安全指導をしながら子どもの見守りを行っています。PTA・学校・地域の連携を大切にし、安心・安全に関する情報や問題の共有化を図るために、「琴似小パトロールだより」を定期的に発行しています。



## ① 郵便事業(株)札幌西支店 (天満 勝良 支店長) 202名 (オートバイ127台、軽四輪車 66台)

② 毎日、多くの社員が西区内をオートバイや軽四輪車でくまなく回って集配業務をおこなうという郵便事業の特性を生かして、平成18年度から子どもの見守り活動を実施しています。地域での不審者情報などを提供することにより、子どもたちが被害者となる事件を未然に防ぎ、明るいまちづくりに参加することを目指しています。



## ① 西町三町内会 (原 孝男 会長) 80名 (町内会役員や保護者など)

② 地域の特徴としては、一戸建てと集合住宅が混在、小学校区は町内会の中心部を貫通している旧国道5号線を境に西園小と発寒西小に通う児童に分かれています。当町内会におけるパトロールは平成19年度から開始、個人個人の活動がメインで、買物や散歩、町内会の会合などで外出する際に腕章を着用してパトロールをしています。年末には西警察署と連携して歳末防犯パトロールを実施したり、夏祭りなどのイベント開催時には全員でパトロールを行います。パトロールの際には、大人・子どもに関係なく積極的に挨拶するように心がけています。



## ① 手稲東小学校スクールガード 68名 (町内会役員や地域住民など)

② 手稲東小学校のスクールガードには68名もの方々が登録しており、これは西区内の小学校で最も多い人数となっています。通常は個人個人で学校施設の周辺や通学路付近を巡回し、不審者の発生がないか、また、警察からの不審者情報を元に通学時間帯などを中心に見回りを行います。学校で集団下校訓練などが行われる場合には、スクールガードも一緒に参加しています。



## 「山の手セーフティ・ネット」が全国防犯功労者表彰を受賞



(区長室にて受賞の報告)

平成21年10月2日、全国防犯協会連合会主催による「平成21年度全国地域安全運動中央大会」が東京都内の明治記念館で開催され、その席上で行われた全国防犯功労者表彰において、山の手セーフティ・ネット(平賀典明代表写真右)が社会安全貢献賞を受賞しました。

山の手セーフティ・ネットは、山の手地区の子どもを地域ぐるみで守ることを目的として、町内会やPTAなどが主体となって結成された団体で、散歩や買物など日常生活において「パトロール中」と書かれたバンダナを着けて行動するほか、地域のタクシー会社の協力による下校時のパトロールといった防犯活動を長年にわたり実施してきました。